

令和 2 年度 アンケート調査の概要

1 調査目的

青森市障がい福祉計画第 6 期計画（障がい児福祉計画を含む）策定に先立ち、障がいのある方の実態、指定障害福祉サービス事業所等におけるサービスの提供体制を把握するために、アンケート調査を実施した。

2 調査設計

(1) 調査対象者

①障がいのある方

身体障害者手帳、愛護手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳所持者 計 2,500 人

②事業者

青森市内に指定障害福祉サービス事業所等を有する法人 計 159 法人 290 事業所

(2) 調査期間

令和 2 年 7 月 17 日～28 日

3 回収結果

区分	障がいのある方	事業所
配付数	2,500	290
回収数	1,270	133
回収率	50.8%	45.9%

4 調査項目

【障がいのある方の調査】

- 1 - 1 記入者・年齢について…2 問
- 1 - 2 健康状態・日常生活・介助などについて…4 問
- 1 - 3 障がいの状況について…10 問
- 1 - 4 暮らしや地域生活の意向について…4 問
- 1 - 5 サービスの利用状況や今後の利用動向などについて…9 問
- 1 - 6 外出や移動手段について…5 問
- 1 - 7 日中活動について…8 問
- 1 - 8 就労について…1 問
- 1 - 9 暮らしやすさや将来の生活について…2 問
- 1 - 10 相談について…1 問
- 1 - 11 権利擁護について…8 問
- 1 - 12 災害時の避難等について…4 問

【事業所調査】

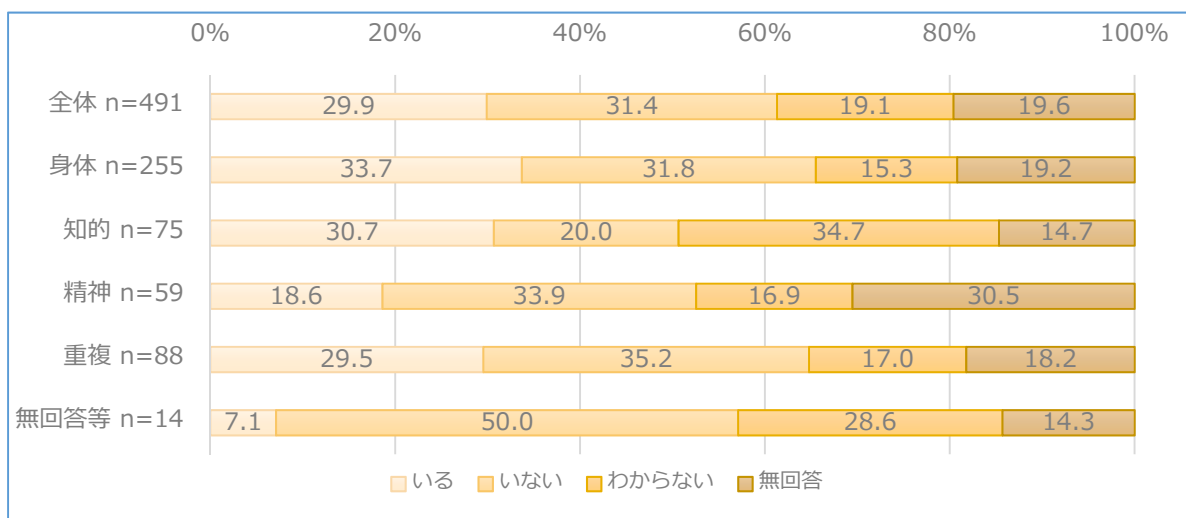
運営状況・利用者の動向、地域移行の状況に関する設問…7 問

5 アンケート調査結果の主なもの

調査結果の中で、見込量勘案の基礎資料となる項目を抜粋しました。

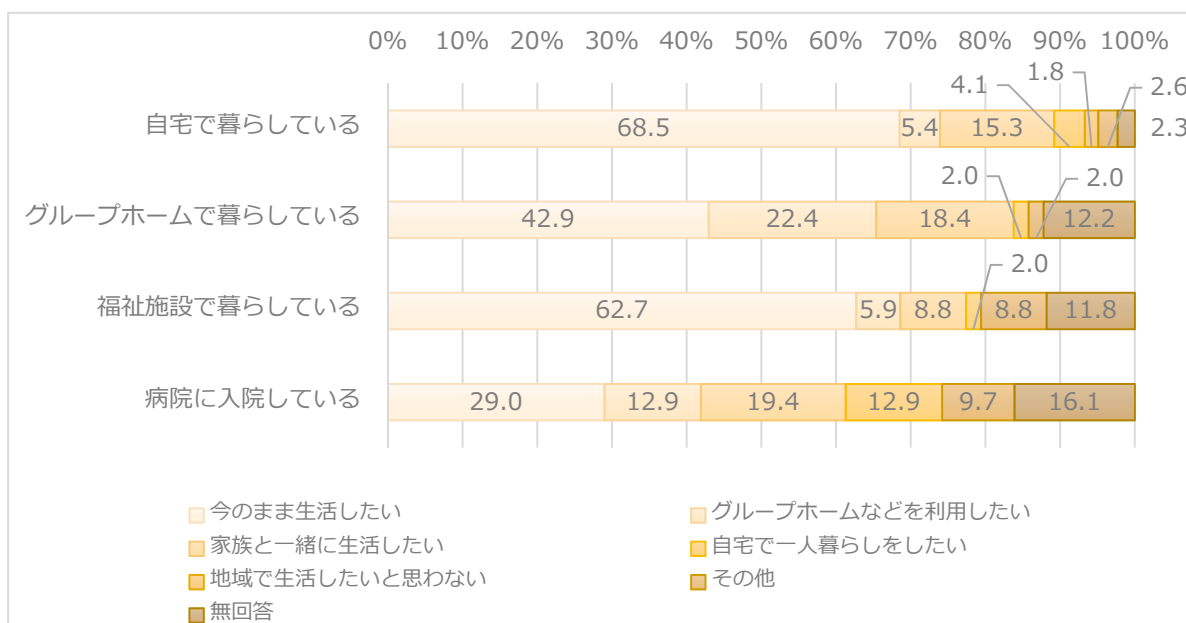
【障がいのある方向けアンケート】

問3-2⑥ 将来、主な介護者のかたがあなたを介護できなくなった場合に、介護を頼める人（頼む予定の人）はいますか。（○は1つだけ）



➡将来、主な介護者の方が介護できなくなった場合に、介護を頼める人が「いない」、「わからない」の割合が、約5割となっています。

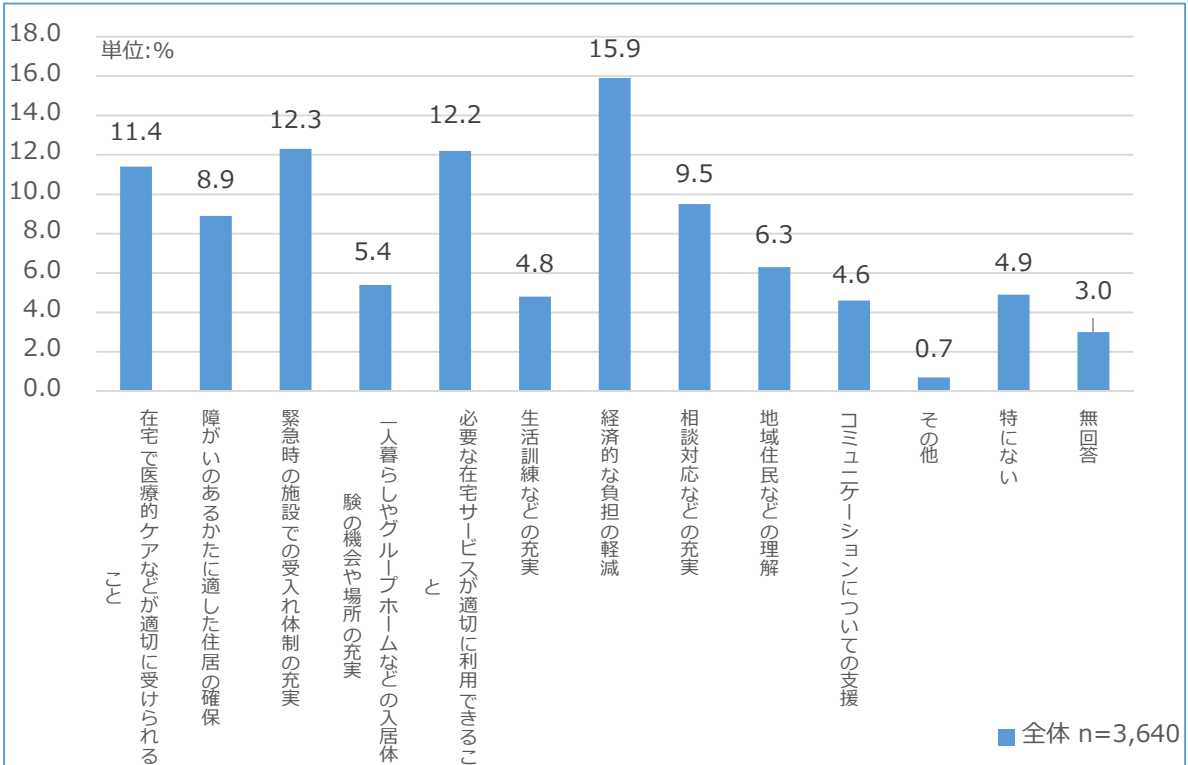
問14 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。



➡福祉施設に入所している方のうち、16.7%の方が、「グループホームなどを利用したい」、「家族と一緒に生活したい」、「自宅で一人暮らしをしたい」など、地域での生活を希望していることが伺えます。

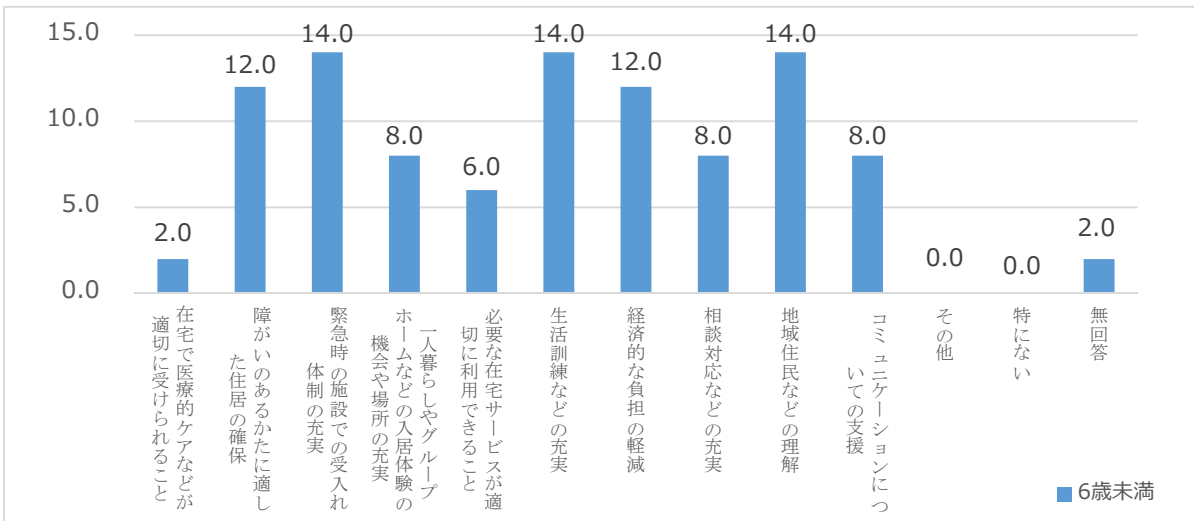
問14-2 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

<全体>



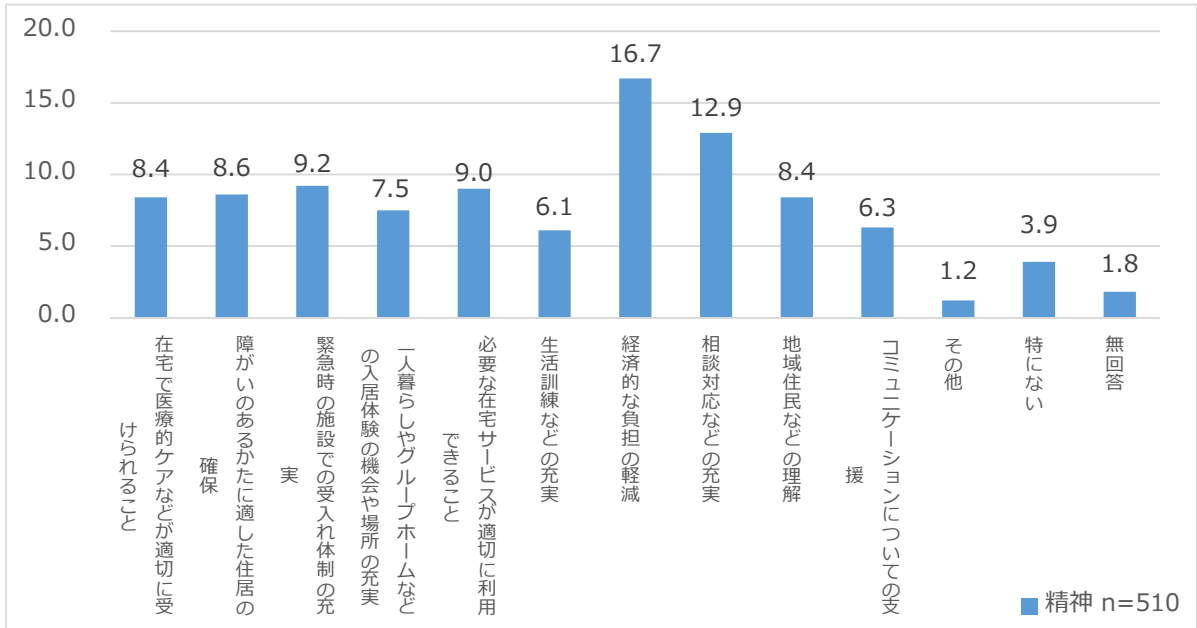
➡「緊急時の施設での受入れ体制の充実」が12.3%、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が12.2%と緊急時の施設での受入や在宅での支援を希望していることが伺えます。

<6歳未満>



➡6歳未満の方については、他の年齢層に比べ「生活訓練などの充実」の割合が、多くなっています。

<精神障がい>



➡精神障がいの方については、全体の傾向と比較し「相談対応などの充実」の割合が、多くなっています。

問19-2 現在利用しているサービスも含めて、これから利用したいと思うサービスをお答えください。

<年齢別>

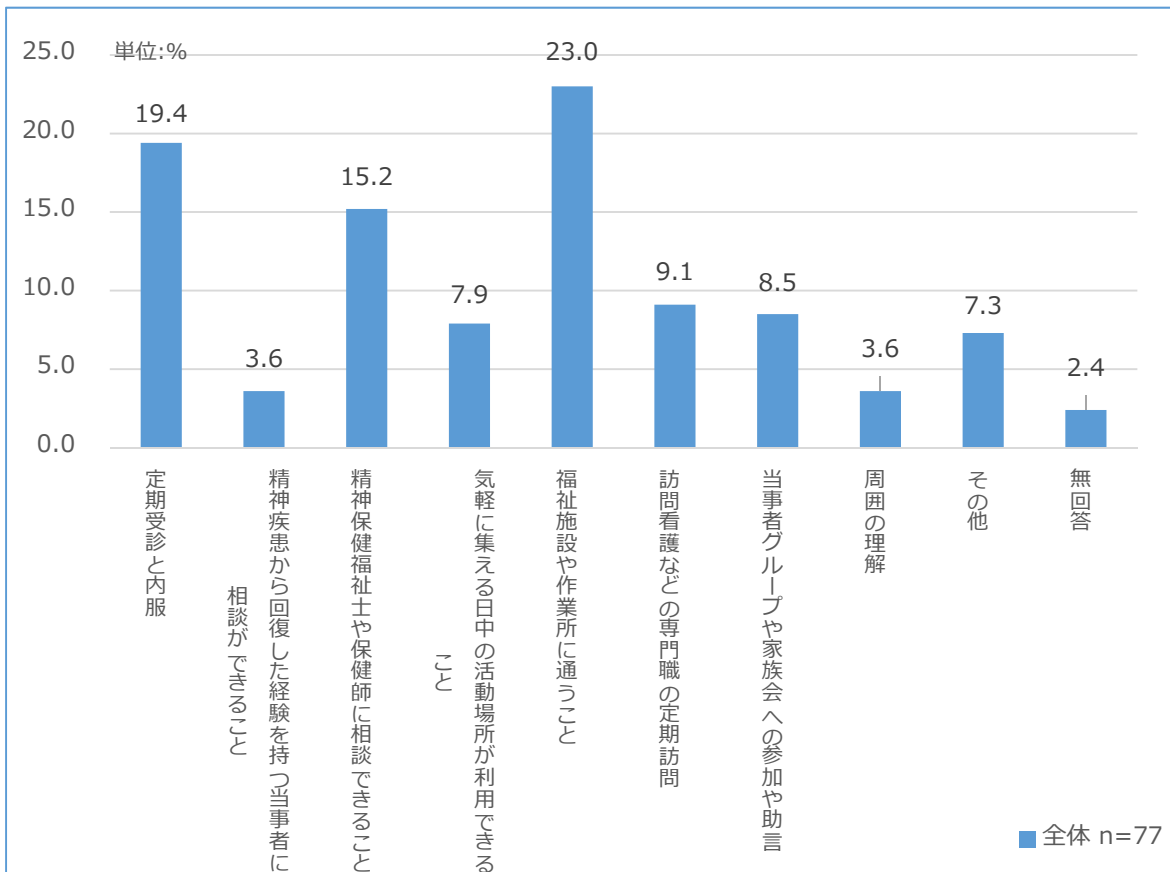
	6歳未満	6歳以上 18歳未満	18歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上
居宅介護（ホームヘルプ）	0.0	0.7	3.2	8.7	9.3	15.2
重度訪問介護	0.0	0.0	0.9	1.8	2.2	1.8
同行援護	0.0	0.7	1.4	3.0	3.6	5.2
行動援護	0.0	2.1	1.8	2.8	2.5	2.0
重度障がい者等包括支援	0.0	0.7	1.8	1.6	3.6	1.8
生活介護	0.0	4.3	9.1	10.5	11.5	8.2
自立訓練（機能訓練）	0.0	2.9	2.7	4.6	7.2	7.5
自立訓練（生活訓練）	0.0	2.9	3.6	5.0	3.6	2.9
就労移行支援	0.0	5.7	3.6	2.8	0.0	0.7
就労継続支援（A型）	0.0	5.0	7.7	5.0	0.7	0.7
就労継続支援（B型）	0.0	5.7	10.0	8.1	1.1	0.7
就労定着支援	0.0	2.9	4.1	2.4	0.4	0.5
療養介護	0.0	0.0	0.0	1.8	3.6	3.2
短期入所（ショートステイ）	0.0	7.9	12.7	3.6	4.7	7.7
自立生活援助	0.0	1.4	1.8	2.2	2.2	1.6
共同生活援助（グループホーム）	0.0	4.3	5.9	4.2	2.9	2.5
施設入所支援	0.0	2.1	7.7	8.1	6.8	8.6
地域移行支援	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.7
地域定着支援	0.0	0.0	0.0	1.8	0.7	0.7
障がい者外出介護サービス	0.0	2.9	1.8	4.2	6.1	4.8
障がい者移送サービス	0.0	5.0	4.1	4.0	8.6	5.7
手話通訳者派遣	0.0	0.0	0.5	1.0	0.7	0.9
要約筆記者派遣	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2
日常生活用具給付	5.9	2.1	5.0	5.2	8.6	6.1
地域活動支援センター	0.0	0.0	1.4	1.6	2.2	1.4
日中一時支援	0.0	9.3	5.5	2.0	2.2	2.7
訪問入浴サービス	0.0	0.0	0.5	1.0	4.7	5.9
成年後見制度利用支援	0.0	2.1	3.2	2.2	0.4	0.2
児童発達支援	23.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
医療型児童発達支援	5.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	47.1	20.7	0.0	0.0	0.4	0.0
居宅訪問型児童発達支援	5.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所等訪問支援	11.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0

➡6歳未満の方については、「放課後等デイサービス」が47.1%と最も多く、6歳以上18歳未満でも、「放課後等デイサービス」が20.7%と最も多く、生活能力の向上や集団生活への適応を目的としたサービスの利用を希望している方が多いことが伺えます。

➡18歳以上40歳未満の方については、就労移行支援、就労継続支援A型、B型の利用を希望する方が多く、就業への意欲が高いことが伺えます。

➡75歳以上の方については、居宅介護（ホームヘルプ）が、他の年齢層と比較し利用を希望する方が多いのに対し、生活介護を希望する方は少なく、在宅での支援を希望していることが伺えます。

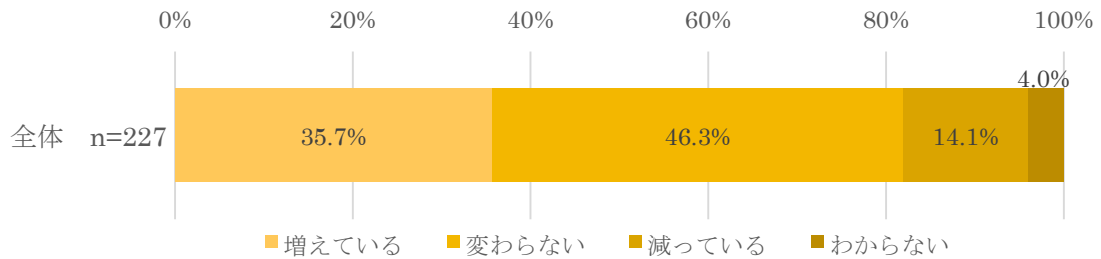
問3 1-2 あなたは精神疾患を抱える人々が病気を悪化させず、地域で安定して暮らすには何が必要だと思いますか。



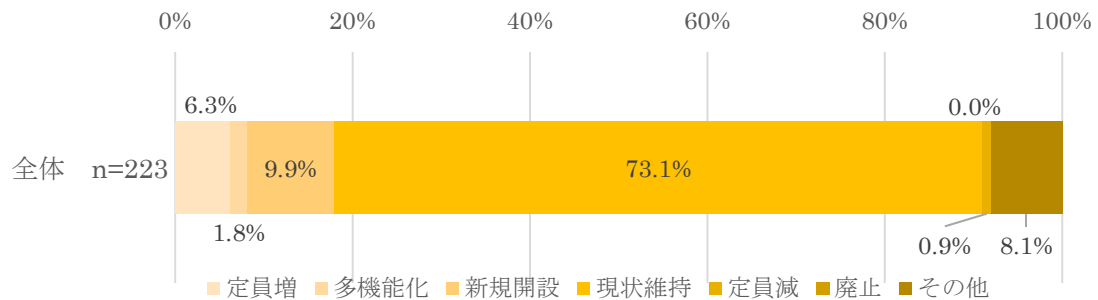
➡精神疾患を抱える人々が病気を悪化させず、地域で安定して暮らすには何が必要かについては、「福祉施設や作業所に通うこと」が23.0%と最も多く、次いで「定期受診と内服」が19.4%、「精神保健福祉士や保健師に相談できること」が15.2%となっており、日中活動への参加や専門家への相談により、地域の一員として暮らすことを希望していることが伺えます。

【事業者向けアンケート】

問3 - (2) 現在提供しているサービス、または、今後提供を検討しているサービスについて、利用者の動向及びその対応策、また、その対応策の実施予定時期について記入してください。



➡利用者の動向については、「変わらない」が 46.3%で最も多く、次いで「増えている」が 35.7%、「減っている」が 14.1%となっています。



➡対応策については、「現状維持」が 73.1%で最も多く、次いで「新規開設」が 9.9%となっています。廃止と答えた事業所はありませんでした。

問5 (1) 青森市の支給決定者のうち、一般就労されたかたの人数について、年度ごとに記入してください。

サービスの種類	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
就労移行支援	16	11	21
就労継続支援 A 型	14	27	27
就労継続支援 B 型	1	3	3
生活介護	0	0	1
自立訓練(機能訓練)	0	0	0
自立訓練(生活訓練)	0	1	0
合計	31	41	54

➡一般就労されたかたの人数については、増加傾向にあることが伺えます。